

美術講演会

大正デモクラシーのなかの清方

鎌倉市鍋木清方記念美術館では、特別展「清方の大正時代 一至上の美を求めて」(10月22日～11月27日)を開催し、模索と試行を重ねてやがて名作《築地明石町》創造へとつながる大正時代の画業を紹介します。

このたび、鍋木清方と近代の美人画について長年にわたり調査研究を重ねてこられた神奈川県立歴史博物館・主任学芸員 角田拓朗氏を講師に迎え、大正デモクラシーのなかの清方についてお話しいただきます。

講師：角田 拓朗 氏

(神奈川県立歴史博物館・主任学芸員)



【プロフィール】

1979年東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程中退。

2006年より、神奈川県立歴史博物館学芸員。主な著作に、「五姓田のすべて—近代絵画への架け橋」(展覧会図録 平成20年第21回倫雅美術奨励賞受賞)などがある。専門は日本近代美術史。

日時：令和4年11月15日(火) 午後1時30分～3時

* 開場及び入館は午後1時からです。

* 新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容が変更となる可能性があります。

場所：鎌倉市鍋木清方記念美術館

鎌倉市雪ノ下一丁目5番25号

(※駐車場、駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。)

料金：800円

定員：25名様

お申込：電話または当館窓口にて

10/1(土)午前9時よりお申込受付

(先着順)

問合せ：電話 0467-23-6405

FAX 0467-23-6407

主催：鎌倉市鍋木清方記念美術館

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団



JR 横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車。
小町通りを北に徒歩7分左折。

美術講演会 申込欄

11月15日(火)の美術講演会に参加いたします。

ご芳名	ふりがな	お電話	
ご住所			

※ご記入いただいた個人情報は、鎌倉市鍋木清方記念美術館で行う事業以外に使用することはありません。